

# メンター通信 NO.9

平成 26 年 11 月 4 日  
ペアレントメンター鳥取

## ペアレントメンター活動のさらなる充実

～ペアレントメンターに係る家族支援事業の受託～

鳥取県自閉症協会ではペアレントメンターに関係する県の委託事業として、平成 24 年度から取り組んできていますが、平成 26 年度は「ペアレントメンターに係る家族支援事業」として委託費も大幅に増額となりました。

これは、これまでのコーディネーターの配置の他に、県が直接実施されていた「県立施設でメンターが活動する際の報酬等の支払い」や「メンターフォローアップ研修」をお引き受けし、今年度から新規事業としてスタートした病院での相談にメンターが関わる「早期相談モデル事業」が加わって、大きな事業費となったものです。

コーディネーターの業務量も一段と増えましたので、これまで週 7 2 時間だった勤務時間が 1 2 0 時間となり、4 月から新たに山上コーディネーターを迎え、2 人体制となりました。チラシや二つ折りカードに明示している「平日 1 0 時から 1 4 時」にはコーディネーターかメンターが在局するよう配慮しております。

月	火	水	木	金
小 松	小 松	山 上	小 松	山 上



### 山上からひとこと…。

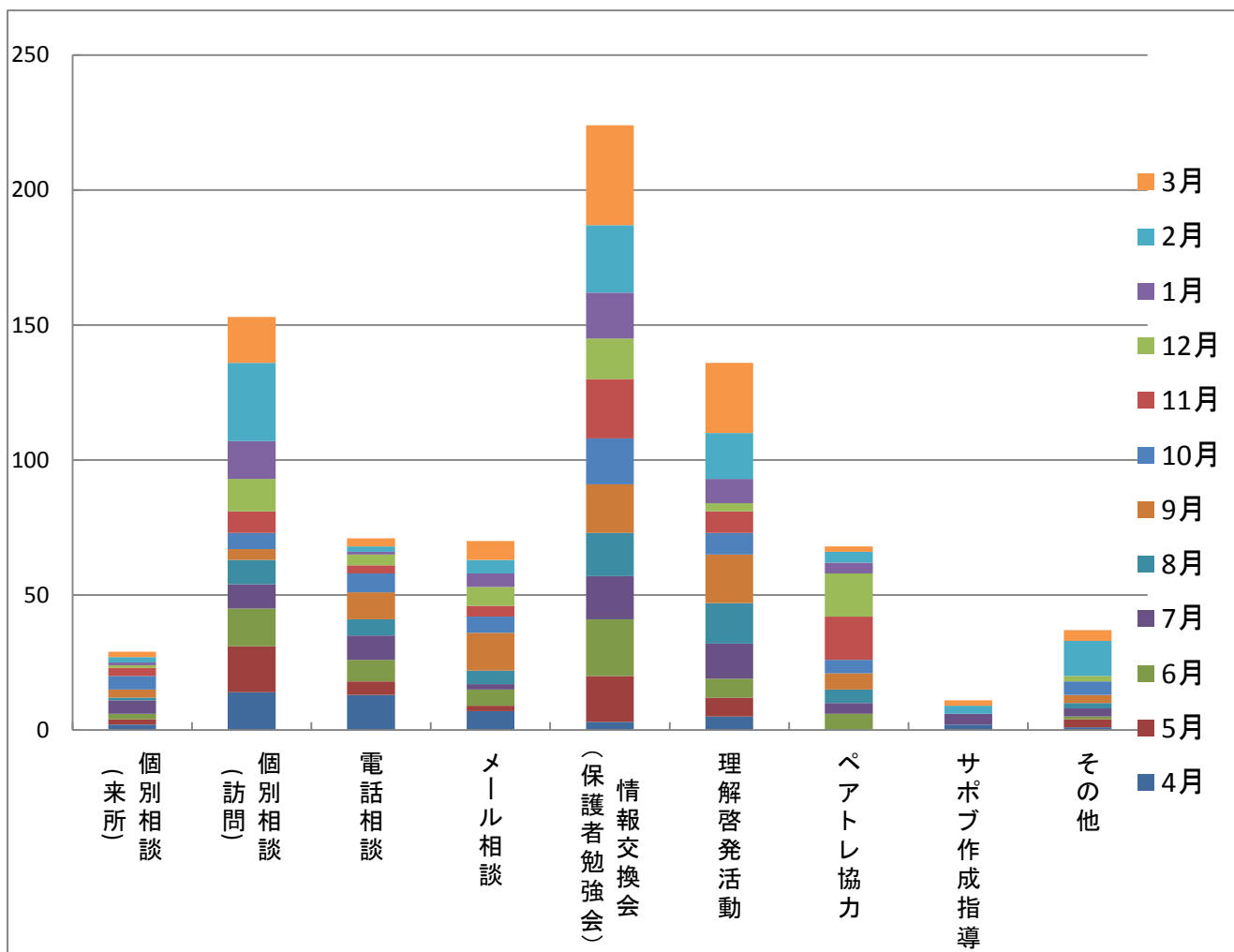
四月からお世話になってます。「山上さんって誰？」って思われる方も多いと思いますので、簡単に自己紹介を…。東部の山間部に住む、一人息子のいる関西出身の者です。鳥取に来てから早十数年経ちました。

いろいろな支援を受ける中でペアレントメンターの活動に出会い、参加をする機会を頂きました。保護者支援の活動ですが私自信の勉強にもさせて頂いてます。

そして保護者支援に関心を持ったのもう一つ、小学校の頃の体験があります。障がいのある子どもさんを学校にお迎えに来る、母の友人であるお母さんの姿をととても印象的に覚えてます。卒業後も町で出会う際はいつでも私に明るく話かける気さくなお母さんでした。今思えばご苦労もあったと思いますが、あの笑顔が私は嬉しく思いました。私も笑顔で接することのできる保護者でありたいなあと常々思います。そして、保護者さんや当事者の方、関わる方々が笑顔になれる機会に関わることができれば大変嬉しいことです。微力ではございますがペアレントメンターの活動を支えていければと思いますので、ご協力お願いします。

(コーディネーター 山上 聡子)

## 《H25.4月～H26.3月までの活動報告》



集 計 表

	延人数	来所	訪問	電話	メール	情報交換	理解・啓発	ペアトレ	サポブ	その他
東部	409	29	51	37	35	116	85	30	8	18
中部	231	0	58	25	6	94	36	0	1	11
西部	159	0	44	9	29	14	15	38	2	8
合計	799	29	153	71	70	224	136	68	11	37

### 平成 25 年度の活動状況の報告

平成 25 年度は年度後半から、西部地区で「医療機関でのメンター相談」が始まり、その活動数は西部地区の「訪問相談」に含まれています。「医療機関でのメンター相談」は西部地区の二つの医療機関で試行的に取り組みましたが、毎月、定例の日時に予約された 2～3 人の方の相談を 2 人のメンターでお受けしました。ここには医療機関の心理の先生が同席され、相談終了後には振り返りが行われています。

この事業は 26 年度は「早期相談モデル事業」として、試行的に実施した西部の 2 つの医療機関で毎月行われることとなりました。また、27 年度以降は医療機関を全県に広げて行うよう準備中です。

# 教育・福祉リソース

## 《 HP 》

☆鳥取県教育委員会 特別支援教育課☆

全県での支援や支援学級の現況などをまとめたリーフレットがダウンロードできます。

参照 <http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/431134/H26tokubetusien.pdf>

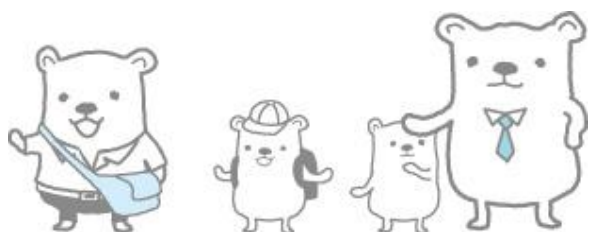
☆中部特別支援教育マップ☆

中部での特別支援教育や相談機関の連絡先や連携をまとめたマップです。

参照 <http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/920345/MAP26.pdf>

※西部は今年度版なし、東部はありません。

## 《 ハンドブック 》



☆鳥取県 発達障がい啓発ハンドブック☆

『発達障がい ハンドブック』

～シロウクマ先生と学ぶ発達障がいのあれこれ～

発達障がいについて「支援しよう」「相談しよう」を目的に作成されました。発達障がいの特性や支援方法、相談機関等が掲載されています。

保育所や学校などではリーフレットが全戸配布されています。

ハンドブックは各市町村の教育委員会、学校等に配布されています。

HPでダウンロード、動画も視聴できます。参照 <http://www.pref.tottori.lg.jp/227029.htm>

発行：鳥取県福祉保健部子育て王国推進局 子ども発達支援課

☆みんなのサービスハンドブック生活支援版☆

西部での支援・相談先が載ったハンドブックです。

(みんなのサービス就労支援版から10年。待望の「生活支援版」)

発行：障害者生活支援センターすてっぴ

## 《 書籍紹介 》



アスペルガー症候群のある子どものための 新 キャリア教育  
— 小・中学生のいま、家庭と学校でできること

本田秀夫・日戸由刈 編著 (2013年 金子書房発行)

アスペルガー症候群の人たちの家族や支援者が、障害について正しく理解し、確かな見通しを持って、将来社会に出ていくための準備を学齢期の段階から進めていくためのガイドブック。家族はもちろん、発達障害の子どもに関わる支援者にも読んで欲しい1冊。

川崎医療福祉大学特任教授・横浜市リハビリテーション事業団参与佐々木正美先生 推薦!

《金子書房HPより》

# 講演・研修会のお知らせ

## ☆ 困難を抱える若者に寄り添うフォーラム ☆

(ひきこもりに関する理解と県内における支援や相談機関の活動案内、講演)

日時：平成26年11月14日(金) 13:30~16:30

会場：とりぎん文化会館 第一会議室

内容：・県内の支援活動報告

・講演「ひきこもり支援から見た地域福祉の可能性」

講師 社会福祉法人藤里町社会福祉協議会常務理事 菊池 まゆみ氏



## ☆ 子どもの心の診療ネットワーク事業 ☆

子どもの心を支える支援者スキルアップ研修

「学童期・思春期の心と食行動」 ~摂食障害への支援を中心に~

日時：平成26年11月16日(日) 14:00~15:30

会場：鳥取県立倉吉体育文化会館

講師：東部島根医療福祉センター 小児科医長 福田 ゆう子氏

参照先：<http://www.pref.tottori.lg.jp/204822.htm>

## 編集後記

平成26年度最初のメンター通信は大幅に遅れての発行となりました。

前回、植物栽培が趣味だと書きましたが、今回もそのネタです。コーヒーの木が2本あります。これまでに10粒ほどのコーヒー豆を収穫しました。昨年から今年にかけての冬はいつもと違うところで冬越し、温度が低過ぎたようで葉が全て落ちてしまい、「もうだめか・・・」と思いました。ところがです！やってくれました！新芽が茎のいや、幹の途中から表れてきました。これだから植物栽培はやめられません。これまでに冬越しに失敗した植物は多々ありますが、生命力には驚きます。

相談も結果に一喜一憂しないで、親御さんのご希望に応じて寄り添いたいと感じています。(小松)



## ペアレントメンター事務局連絡先

住 所：鳥取市瓦町 601 番地

(NPO 法人鳥取県自閉症協会内)

電 話：0857-30-0670 (平日 10:00~14:00)

F A X：0857-30-2785 (24 時間受付)

E - M a i l：[p-ment@kind.ocn.ne.jp](mailto:p-ment@kind.ocn.ne.jp)

U R L：<http://p-ment.main.jp/>